

DIAS コミュニティフォーラム

「水・防災」分科会

Co-Chair: RESTEC 藤井 秀幸
 東京大学 川崎 昭如

日時: 2018年3月9日 14:25~16:25



地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム

水課題アプリケーションの開発

代表機関：国立大学法人東京大学

分担機関：国立研究開発法人土木研究所、日本工営株式会社

協力機関：東京電力株式会社、中部電力株式会社

「DIASを用いた発電ダムの最適運用による
利水・治水安全度の向上を目指して」

プログラム

- (1) 水循環と社会
ICHARM 小池俊雄氏 (40分 14:30～15:10)
- (2) 水課題アプリケーションの概要と今後の展開
東京大学 池内幸司氏 (15分 15:10～15:25)
- (3) 水力発電事業者の立場から見たDIAS水課題アプリへの期待
関西電力 吉津洋一氏 (10分 15:25～15:35)
- (4) 「水課題アプリケーションの開発」FY29成果
WEB-DHM作成GISシステム : ICHARM 玉川勝徳氏
土砂・洪水一体型モデル : ICHARM 原田大輔氏
水力発電施設最適設計システム : 東京大学 川崎昭如氏
(各10分 15:35～16:05)
- (5) 総合討論
モデレーター: 東京大学 川崎昭如氏 (20分 16:05～16:25)

プログラム

- (1) 水循環と社会
ICHARM 小池俊雄氏 (40分 14:30～15:10)
- (2) 水課題アプリケーションの概要と今後の展開
東京大学 池内幸司氏 (15分 15:10～15:25)
- (3) 水力発電事業者の立場から見たDIAS水課題アプリへの期待
関西電力 吉津洋一氏 (10分 15:25～15:35)
- (4) 「水課題アプリケーションの開発」FY29成果
WEB-DHM作成GISシステム : ICHARM 玉川勝徳氏
土砂・洪水一体型モデル : ICHARM 原田大輔氏
水力発電施設最適設計システム : 東京大学 川崎昭如氏
(各10分 15:35～16:05)
- (5) 総合討論
モデレーター: 東京大学 川崎昭如氏 (20分 16:05～16:25)

伊藤国際教育交流財団 様

Q. 災害活動をしている学生のために奨学金枠を創設したので、普及に協力いただきたい。

小池先生

- 非常に強い要望が各国からある。
- リスク評価し政策へ反映するためには、能力開発が必須。ぜひ活性化したい。

Q.社会に実装するにあたって、行政的な課題は？

池内先生

- DIASは優れている。使い勝手を改善する必要あり。
- DIASの良さが伝わっていない。
- ニーズ/シーズのマッチングが必要

小池先生

- 研究成果をなかなか実装できなかった。
- 水課題アプリ開発を通じて、民間企業の方々と共同することで、実装へのギャップを肌にした。
- 壁は、我々研究者の内にある。